

建築は 社会とどうかわっていくのか

「100周年記念特別企画」

100周年記念特別企画① 【対談】領域を踏み超える時、 建築や都市は生まれ変わる

【対談者】大塚健史（前14）・内藤 廣（前21）



東京大学内藤研究室にて

馬場 現在は、情報の量としては膨大だけれども、質の面ではどうということなのでしょうか。

内藤 僕も血気盛んな若者でしたから通りですね。社会を意識するのは、建築家が負うべき責務として常に存在しているとも思っています。

馬場 知識として頭で知ることと身体で知ることとは違う。先生によると、今でも覚えていたことがあります。先生によると、構造計算するにまず図面を見て、建築として壁のバランスが正しければそれでいい、計算はその後でいい。平面図や断面図を見ておかしと感じなければ、専門家として失格だということです。

馬場 明治以来の日本は目標があった。その線路上の上をいかにも早く進むかと突っ走ってきました。でも少なくとも1990年代のバブル崩壊以降、その線路がなくなってしまった。今は道なき道を車に乗って自走している状態です。

馬場 明治以来の日本は目標があった。その線路上の上をいかにも早く進むかと突っ走ってきました。でも少なくとも1990年代のバブル崩壊以降、その線路がなくなってしまった。今は道なき道を車に乗って自走している状態です。

100周年記念特別企画②

「意図」建築家・研究者の活動に見る「建築と社会」

01 森川嘉一郎（前7）・前9・石出雄一

2004年度の完成を目前に、「東京国際マンガ図書館」の計画。建築家・研究者の活動に見る「建築と社会」。

特別企画の対談では、建築の未来を切り拓くために、領域や制約を乗り越えるための必要性を身体で知ることの重要性が話された。では、実際に福田出身者6人はどのように社会とかわり、活動を行っているのか。ここでは、近年の活躍が著しい6人の若手建築家・研究者に自身の活動について語ってもらった。新たな視野をもって、領域を横断する人の活動を通して、これからの「建築と社会」を見ていこう。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

内藤 母の実家が降った。山口さんは独特な世界を持ってた人でですね。覚えてるのは「建築は社会がつくるんだ」という言葉です。山口さんの社会運動家としての側面が言われた言葉です。それが、最近の建築界には、まさにその通りだと感じています。

馬場 一方で逆の話もあって、石上純也さんや藤本壮介さん若い若い建築家がどんどん出てきています。彼らは図面を引くツールではなく、あくまで考えた道具としてコンピューターを使っています。何千回とシミュレーションし、感性に合った切り拓いていく可能性はあるわけですが、建築を建築学の先生がどう教えるか、あるいは組織の上立つ人間がどう理解し、受け止められるかという問題が出てきていると思います。

馬場 一方で逆の話もあって、石上純也さんや藤本壮介さん若い若い建築家がどんどん出てきています。彼らは図面を引くツールではなく、あくまで考えた道具としてコンピューターを使っています。何千回とシミュレーションし、感性に合った切り拓いていく可能性はあるわけですが、建築を建築学の先生がどう教えるか、あるいは組織の上立つ人間がどう理解し、受け止められるかという問題が出てきていると思います。

02 日置拓人（前15）・前18・古谷雄一

「土」という地域固有な素材に着目。建築家・研究者の活動に見る「建築と社会」。

私は、早稲田大学卒業後、淡路島の左官職人久住屋の下で3年ほどに在籍して、日本伝統技術から現代建築まで幅広い施設の現場の仕事を経験した。その土を用いて現場でテストピースの検討を重点的に。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

内藤 母の実家が降った。山口さんは独特な世界を持ってた人でですね。覚えてるのは「建築は社会がつくるんだ」という言葉です。山口さんの社会運動家としての側面が言われた言葉です。それが、最近の建築界には、まさにその通りだと感じています。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

03 吉良森子（前6）・前21・池田隆

世界遺産とモダニティ。建築家・研究者の活動に見る「建築と社会」。

6年前からアムステルダム市の17世紀歴史的地域「アムステルダム」の建築調査員として活動中。今年には委員長も務めた。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

内藤 母の実家が降った。山口さんは独特な世界を持ってた人でですね。覚えてるのは「建築は社会がつくるんだ」という言葉です。山口さんの社会運動家としての側面が言われた言葉です。それが、最近の建築界には、まさにその通りだと感じています。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

04 安部 良（前2）・前4・石出雄一

「島キッチン」という出来事について。建築家・研究者の活動に見る「建築と社会」。

瀬戸内海の島々を舞台に開催された現代建築展「瀬戸内建築展2009」に参加した。今回、私が関わることになった。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

内藤 母の実家が降った。山口さんは独特な世界を持ってた人でですね。覚えてるのは「建築は社会がつくるんだ」という言葉です。山口さんの社会運動家としての側面が言われた言葉です。それが、最近の建築界には、まさにその通りだと感じています。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

05 山本想太郎（前11）・前13・横橋 樹

建築における「意識の連続性」。建築家・研究者の活動に見る「建築と社会」。

「大の芸術祭。越後妻籠アートリエントール」は、新潟県上町市で3年間にわたって開催されている。私は2007年の現代アート開催者として参加した。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

内藤 母の実家が降った。山口さんは独特な世界を持ってた人でですね。覚えてるのは「建築は社会がつくるんだ」という言葉です。山口さんの社会運動家としての側面が言われた言葉です。それが、最近の建築界には、まさにその通りだと感じています。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

06 吉村靖孝（前7）・前9・古谷雄一

社会と建築の表現。建築家・研究者の活動に見る「建築と社会」。

昨年は、海運コンテナの規格寸法に合わせて設計した空室ユニットを海外で製造する「ペナサイドマリナホテル」の企画が、1週間の短期間で完了した。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

内藤 母の実家が降った。山口さんは独特な世界を持ってた人でですね。覚えてるのは「建築は社会がつくるんだ」という言葉です。山口さんの社会運動家としての側面が言われた言葉です。それが、最近の建築界には、まさにその通りだと感じています。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

時代の変化に伴い、建築関係者も求められる役割が多様化している。しかし一方で、建築が抱えてきた問題もまた多い。いま建築に携わる人は、社会的責任をどう果たしていくのか。建築家・研究者は、100周年を境に、あらたな考え、前向きな対話を通じて、建築界と社会の関係を、自分自身で定義し、未来を切り拓くために必要とされる役割を担う。後半では30代から40代までの若手建築家、研究者が、設計活動を通して社会との関わり方を語る。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

内藤 母の実家が降った。山口さんは独特な世界を持ってた人でですね。覚えてるのは「建築は社会がつくるんだ」という言葉です。山口さんの社会運動家としての側面が言われた言葉です。それが、最近の建築界には、まさにその通りだと感じています。

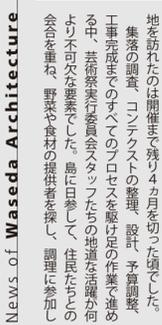
馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。

馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。



上：「INAX土・どろんこ館」



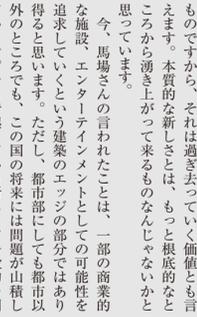
下：益子土器

News of Waseda Architecture

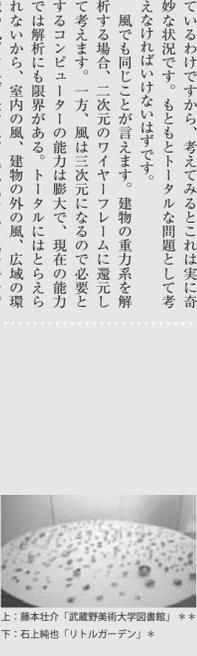
もです。それは過ぎ去っていく価値とも言えます。本質的な新しさは、もともと根拠的なところから湧き上がってくるものじゃないかと思つていい。

今、馬場さんの言われたことは、一部の商業的施設、エンターテインメントとしての可能性を追求しているという建築のエンジニアリングの部分ではあり得ると思います。ただし、都市部においても都市以外のところでも、この国の将来には問題が山積しています。そこで起きてくる新しい一般的な問題、切実な問いかけに対して、きちんと答えられるものになっているか、かか問題です。

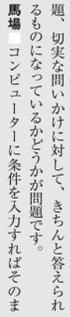
馬場 ヒロで内藤さんという関係から、建築の世界に入ってきたんですね。



上：藤本壮介「武蔵野美術大学図書館」



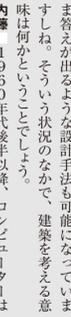
下：石上純也「リトルガーデン」



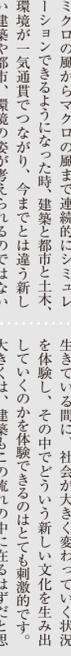
上：藤本壮介「武蔵野美術大学図書館」



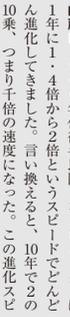
下：石上純也「リトルガーデン」



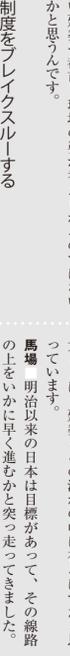
上：藤本壮介「武蔵野美術大学図書館」



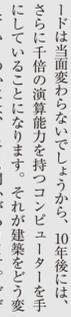
下：石上純也「リトルガーデン」



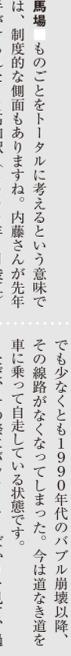
上：藤本壮介「武蔵野美術大学図書館」



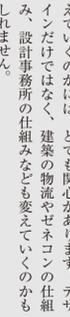
下：石上純也「リトルガーデン」



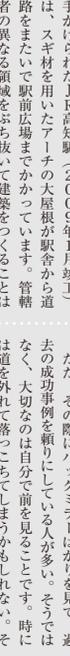
上：藤本壮介「武蔵野美術大学図書館」



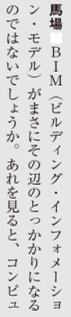
下：石上純也「リトルガーデン」



上：藤本壮介「武蔵野美術大学図書館」



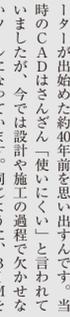
下：石上純也「リトルガーデン」



上：藤本壮介「武蔵野美術大学図書館」



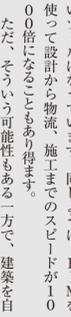
下：石上純也「リトルガーデン」



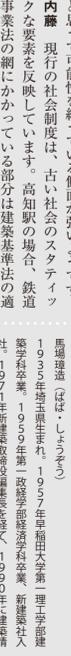
上：藤本壮介「武蔵野美術大学図書館」



下：石上純也「リトルガーデン」



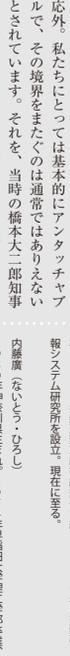
上：藤本壮介「武蔵野美術大学図書館」



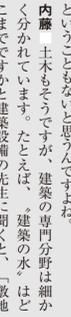
下：石上純也「リトルガーデン」



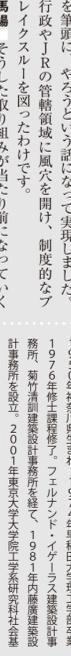
上：藤本壮介「武蔵野美術大学図書館」



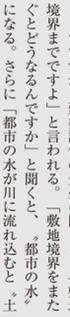
下：石上純也「リトルガーデン」



上：藤本壮介「武蔵野美術大学図書館」



下：石上純也「リトルガーデン」



上：藤本壮介「武蔵野美術大学図書館」